(局)

会派名称	支出伝票番号
共産党	100 － 42

政務活動費支出伝票

経費区分	会議費
支出年月日	令和 7 年 5 月 2 日
支出額	19,042 円

使途及び内容

会議開催費

按分による支出の場合の記載事項

・全体の経費 （ 19,042 円）．．． A

・按分の率（ 100 %）．．．．．． B

政務活動費の支出額

A × B ＝ 19,042 円

≪領収書等証拠書類の添付欄≫

備考欄

足柄下郡湯河原町、南足柄市、小田原市の町長・市町との懇談
新幹線代、電車代、タクシー代
※詳細は別紙参照

県西部3市町懇談交通費

乗車	利用交通機関	降車	乗車賃	利用者
衣笠駅	JR横須賀線、JR東海道本線	湯河原駅	1,342	井坂議員
湯河原駅	JR東海道本線	小田原駅	330	
小田原駅	JR東海道本線、 JR横須賀線	衣笠駅	990	
		小計	2,662	

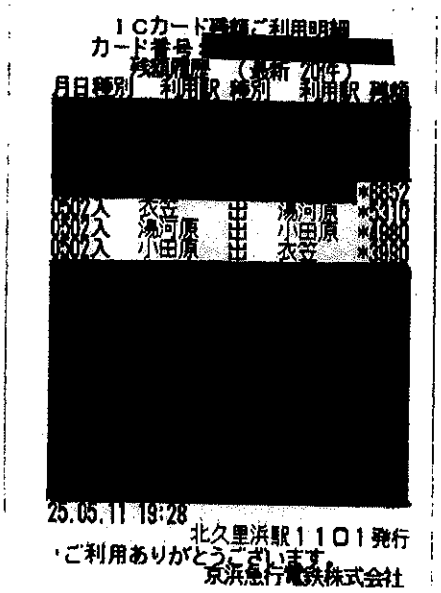
	乗車	利用交通機関	降車	乗車賃	利用者
	横浜市鶴見区馬場	東宝タクシー(株)	新横浜駅	2,000	木佐木議員
乗車券	新横浜駅	JR新幹線、JR東海道本線	湯河原駅	1,340	
特急券	新横浜駅	JR新幹線	小田原駅	990	
	湯河原駅	JR東海道本線	小田原駅	330	
乗車券	小田原駅	JR新幹線	新横浜駅	990	
特急券	小田原駅	JR新幹線	新横浜駅	990	
			小計	6,640	

	乗車	利用交通機関	降車	乗車賃	利用者
乗車券	菊名駅	JR横浜線、JR新幹線、 JR東海道本線	湯河原駅	1,340	[redacted] 事務局員
特急券	新横浜駅	JR新幹線	小田原駅	990	
	湯河原駅	JR東海道本線	小田原駅	330	
乗車券	小田原駅	JR新幹線、JR横浜線	菊名駅	990	
特急券	小田原駅	JR新幹線	新横浜駅	990	
			小計	4,640	

乗車	利用交通機関	降車	乗車賃	利用者
小田原駅西口	ケイエム大箱根自動車（株）	南足柄市役所	5,100	大山・井坂・ 木佐木・佐々木
		小計	5,100	

合計　19,042

井坂議員交通費



ＩＣカード[redacted]ご利用明細
カード番号[redacted]
残額履歴　（最新 20件）

月日	種別	利用駅	種別	利用駅	残額
[redacted]					
					¥6852
0502入	衣笠		出	湯河原	¥5310
0502入	湯河原		出	小田原	¥4980
0502入	小田原		出	衣笠	¥3980
[redacted]					

25.05.11 19:28
北久里浜駅１１０１発行
ご利用ありがとうございます。
京浜急行電鉄株式会社

大山・井坂・木佐木・佐々木交通費（タクシー料金）

領　収　書
No.1981

日付　'25年05月02日
車番　4210　000
基本運賃　¥5100円

運賃料金計　¥5100円
合計　¥5100円
上記の通り領収致しました

（適用税率10%）
登録番号:T1021001032608
KM GROUP ケイエム大箱根自動車㈱
小田原 0120(34)9571
箱根 0120(85)3305

お忘れ物、ご要望は、上記又は
神奈川タクシーサービスセンター小田原
☎０４６５(２２)２０９９

木佐木議員交通費

領収書

2025年05月02日 -005

メーター運賃 ¥2,000円

合計 ¥2,000円

(税率10%)

登録番号 T3020001018193

ネット 決済 ¥2,000円

毎度ご乗車ありがとうございます。

車輌番号 0027

東宝タクシー㈱

配車専用ダイヤル

TEL 045-504-0003

お忘れ物・ご意見・ご要望は

TEL. 045-501-5891

領収書

Receipt 木佐木 様

領収年月日 2025.-5.-2 登録番号：T3180001031569

金額 ¥2,330(消費税等込み) 税10%

〔クレジット扱い〕

購入商品 ＪＲ乗車券類

(00126 2枚)

東海旅客鉄道株式会社

新横浜駅MV853発行 10127-02

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

乗車券 1,340円

特急券 990円

乗車＋特急券2330円

お客様控

クレジットカードご利用票/CREDIT CARD SALES SLIP R630

有XX-XX

会社名・会員番号 [redacted] (ＪＲ東海)

取引内容:お買上 支払区分: - 括 IC ¥1,980

承認番号:396121 ATC0019 C00

商品名: 自由席券 2枚(冊)

5月 2日 小田原→新横浜 乗車券込み

乗車変更や払戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。

払戻しの際は購入時のカードをお持ちください。

JCB Credit A0000000651010

2025.-5.-2 00294-01

この控は大切に保存してください。

小田原駅MV702発行

領収書

Receipt 様

領収年月日 2025.-5.-2 登録番号：T3180001031569

金額 ¥1,980(消費税等込み) 税10%

〔クレジット扱い〕

購入商品 ＪＲ乗車券類

(00294 2枚)

東海旅客鉄道株式会社

小田原駅MV702発行 10295-02

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

乗車券 990円

特急券 990円

乗車＋特急券1980円

Card Viewer

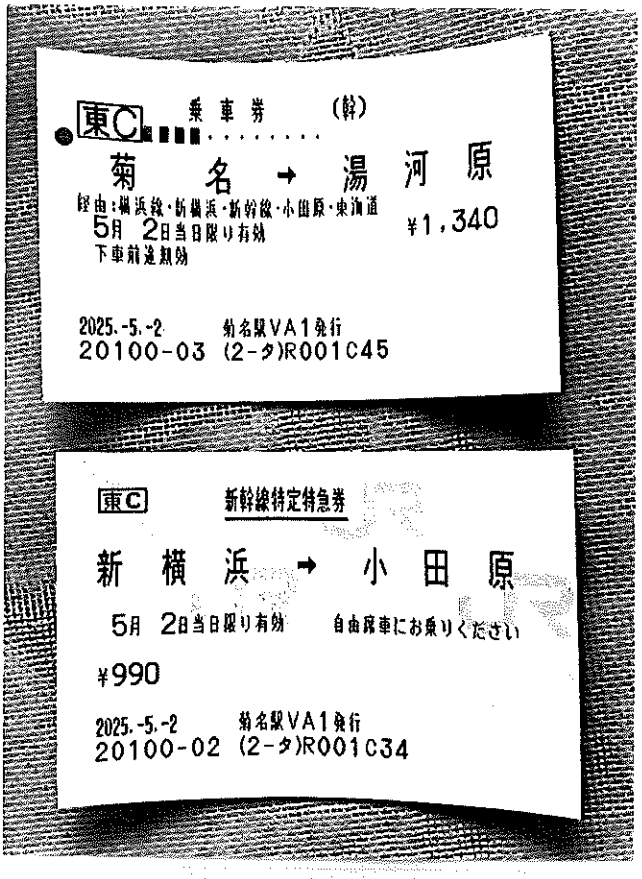
[redacted]

関連サイト　メニ

月日	入場駅 / 事業者	出場駅 / 降車場所	利用額	残額	メモ
[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
05/02	JR東　湯河原	JR東　小田原	¥330	[redacted]	[redacted]

[redacted]事務局員交通費

【往路】



東C 乗車券 (幹)

菊名 → 湯河原

経由:横浜線・新横浜・新幹線・小田原・東海道

5月 2日当日限り有効 ¥1,340

下車前途無効

2025.-5.-2 菊名駅VA1発行

20100-03 (2-タ)R001C45

東C 新幹線特定特急券

新横浜 → 小田原

5月 2日当日限り有効 自由席車にお乗りください

¥990

2025.-5.-2 菊名駅VA1発行

20100-02 (2-タ)R001C34

領収書 [redacted] 様

Receipt

領収年月日 2025.-5.-2 登録番号:T9011001029597

金額 ¥2,330 税10%

〔クレジット扱い〕

購入商品 JR乗車券類

(20100 2枚)

東日本旅客鉄道株式会社

菊名駅VA1発行 30101-01

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

【帰路】



C制 乗車券 (幹)

小田原 → 菊名

経由:小田原・新幹線・新横浜・横浜線

5月 2日当日限り有効 ¥990

下車前途無効

2025.-5.-2 小田原駅MV702発行

50299-03 (3-タ)R274C60

C制 新幹線特定特急券

小田原 → 新横浜

5月 2日当日限り有効 自由席車にお乗りください

¥990

2025.-5.-2 小田原駅MV702発行

50299-02 (3-)R274C45

領収書 [redacted] 様

Receipt

領収年月日 2025.-5.-2 登録番号:T3180001031569

金額 ¥1,980(消費税等込み) 税10%

〔クレジット扱い〕

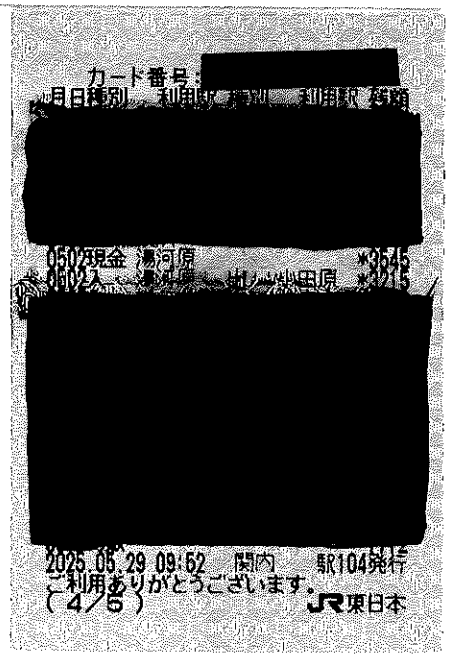
購入商品 JR乗車券類

(50299 2枚)

東海旅客鉄道株式会社

小田原駅MV702発行 60300-02

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済



カード番号:[redacted]

[redacted]

0502現金 湯河原 ¥3545

[redacted]

2025.05.29 09:52 関内 駅104発行

ご利用ありがとうございます。

(4/5) JR東日本

日本共産党神奈川県議会議員団　県西部３市町　視察報告書

2025年5月9日　日本共産党神奈川県議会議員団
（報告責任者：団長　大山　奈々子）

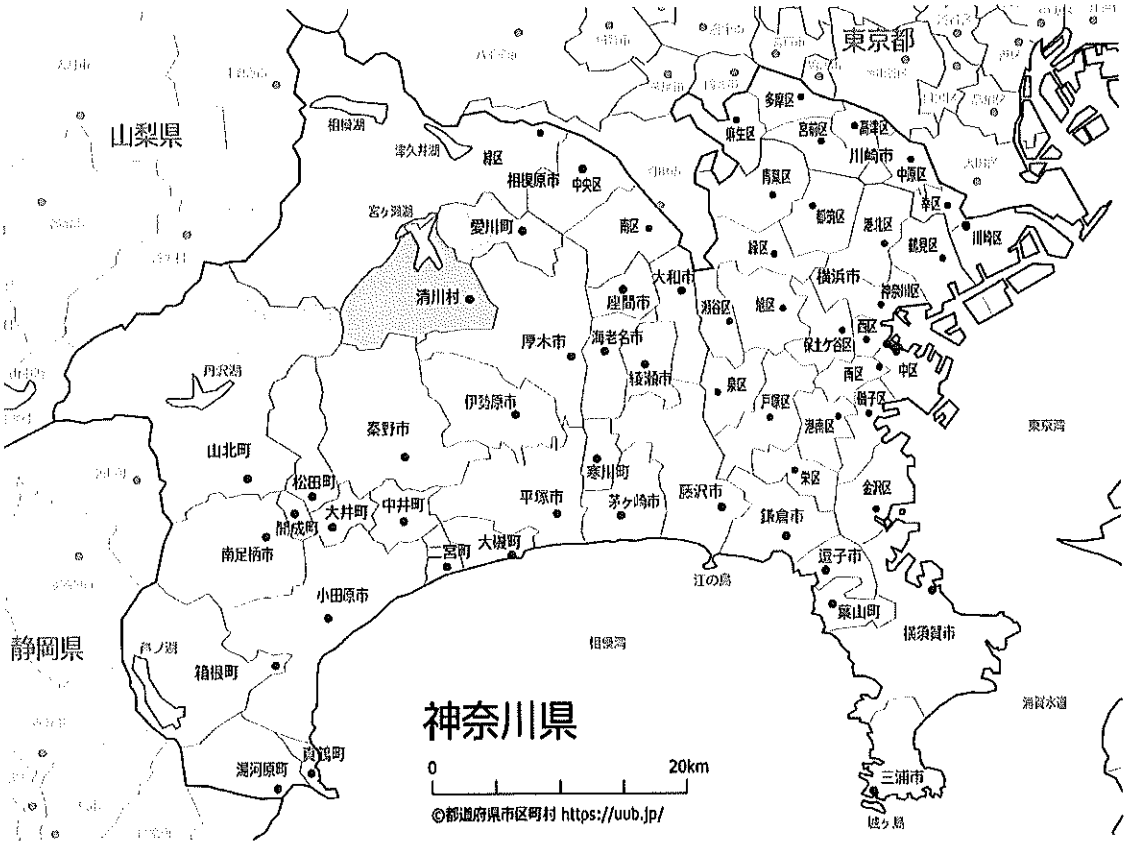
[日程及び訪問先]

■ 懇談実施日　2025年5月2日（金）

■ 訪問自治体　（1）足柄下郡湯河原町
（2）南足柄市
（3）小田原市

[目次]

【1】訪問先自治体／懇談時間／出席者等・・・・ P1
【2】懇談の目的と主な懇談テーマ・・・・・・・ P1
【3】懇談報告
1 湯河原町懇談報告（大山奈々子県議）・・P1
2 南足柄市懇談報告（井坂新哉県議）・・・P2
3 小田原市懇談報告（木佐木忠晶県議）・・P4
【4】費用額（政務活動費支出）・・・・・・・・・P5



【１】訪問先自治体／懇談時間／出席者等

視察日：2025年5月2日（金）

自治体名 （懇談時間）	住所／懇談窓口	連絡先	出　席　者　（敬称略）		
			県議団	地元議員	自治体
湯河原町 （11:00～ 12:00）	〒259-0392 足柄下郡湯河原町 中央2-2-1 湯河原町役場 [担当者] 秘書広報室・[redacted]	TEL（代表） 0465-63-2111 FAX 0465-63-7333	[団長] 大山奈々子 [副団長] 井坂　新哉 [政調会長] 木佐木忠晶 [事務局長] [redacted]	[町議] [redacted]	町長 参事兼総務課長 参事兼地域政策課長 参事兼まちづくり課長 参事（福祉グループ）介護課長 秘書広報室長 秘書広報室職員 [redacted]
南足柄市 （14:00～ 15:00）	〒250-0192 南足柄市関本440 南足柄市役所 [担当者] 企画課・[redacted]	TEL（直通） 0465-73-8001 FAX 0465-73-4110		[市議] [redacted]	市長 企画部長 秘書広報課参事兼秘書広報課長 企画課長 [redacted]
小田原市 （16:00～ 17:00）	〒250-8555 小田原市荻窪300番地 小田原市役所 [担当者] 秘書室・[redacted]	TEL（直通） 0465-33-1231		[市議] [redacted]	市長 秘書室職員 [redacted]

【２】懇談の目的と主な懇談テーマ

（１）懇談の目的

○神奈川県への要望や各自治体が取り組んでいる課題など、県西部の地域課題について直接聞き取り、県行政にとって必要な課題や政策を把握する一助とする。なお、今回の懇談対象は、昨年実施できなかった県西部の３市町を視察した。

（２）主な懇談テーマ

○各自治体の取り組みや課題等と併せて、当県議団として関心のある以下の諸点についても可能な範囲でご報告いただくよう、事前に要請した。

①防災対策、②エネルギー政策、③教育政策、④農林水産業を始めとした産業政策、⑤その他

【３】懇談報告

1 湯河原町　／報告者：大山奈々子県議

［日　時］５月２日（金）11：00～12：00
［会　場］湯河原町役場第２庁舎２Ｆ会議室
［出席者］計１２名（湯河原町７名、県議団４名、地元町議１名）
※（出席者の役職・氏名等は【１】参照）

（１）主な質疑

Ｑ：一番大きい課題は？

Ａ：バス事業者が撤退を希望している、運転手不足が深刻。
バス路線の赤字補填として、町が年７００万円を負担。コミバスも人手不足。バスは一社だけなので、広域連携は難しい。
野生の猿による被害が深刻。農業被害に加えて生活被害が起きている。全頭駆除を目指したい。

Ｑ：高齢者支援策は？

Ａ：バス停にベンチを設置した。
見守りライトを導入した。２４時間動きがない場合、関係各所にメールが届く仕組み。非課税世帯には町の補助がある。町が全額補助する（月１，０００円）。
Ｑ：稼げる農業とは？
Ａ：「軽トラ市」を行っている。軽トラックで横付けして自分で売って勝手に帰るような仕組みで、町が場所とコミュニティを提供している。代理販売も検討。販路開拓は第一弾。



（2）県への主な要望

○バス路線撤退対策、運転手確保を県に働きかけている民間事業者もあり、どういう形で県が間に入れるか。また、ライドシェアについて、タクシー事業者に気を遣いすぎて、なかなかうまく普及しない状況を改善してほしい。
○防災行政無線の入れ替えに伴う財政支援。
○空き家対策、除却に対する財政支援。所有者調べも課題。
○学校の老朽化対策、ギガスクールに関するランニングコストの支援。
○特別支援学校の教員確保。
○県には、県西地域全体ではなく、湯河原町に特化した支援をしてほしい。お金をくれるなら配分だけしてほしい。口は出さずに・・・。
○介護関係など、人材確保策は急務。介護のみならず、障害、保育、子どもに関しても。各市町村が頑張ったところで実現できない問題なので、都道府県に広域的な部分も含めて積極的な支援をお願いしたい。



○湯河原町に県の施設を持ってくることはできないか？県の保養所のようなものや、人が集まるような施設。県の公園もあるが、ほとんど何もしていない。県の資金を湯河原に持ってくる方法はないか。

（3）感想

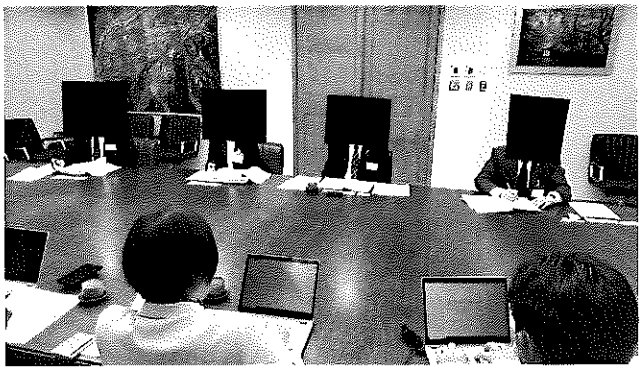
○一つずつでも福祉施策を増やしていきたいという町長の心意気は、とても大切だと思った。実際に町民の苦難に配慮した施策を伺い、他の自治体にも共有できるといいと思った。
○県への要望は他の自治体にも共通するものだっただけに、何とかしないといけないと思っている。
○ライドシェアの評価が県議団と違ったのは残念だが、それだけ足の確保が切実だということ。
○人口減少問題について、どのような方向性で取り組みたいと考えているかと伺ったところ、「消滅可能性自治体に指定されているが、若者を呼び込むための特別な政策（移住したら１００万円あげるなど）はしない。湯河原町に住んでいる方がもっと住みやすい、幸せだと感じるような街にすることで、自然と人が集まってくるようにしたい」という発想は素晴らしい。地元の多くの方々が応援した町長ならではと感じ、さらに町政が前進しますようにと思った。
○町長は宿泊税を創設し観光に生かすと語っておられたが、のちに、実はその浮いた費用分を福祉財源にしたいという構想であることが、地元支持者から寄せられた。

2 南足柄市　／報告者：井坂新哉県議

［日　時］５月２日（金）14：00～15：00
［会　場］南足柄市役所3F 会議室

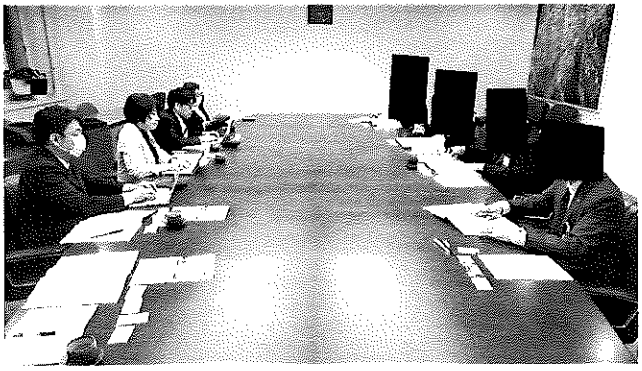
［出席者］計９名（南足柄市４名、県議団４名、地元市議１名）
※（出席者の役職・氏名等は【１】参照）

（１）主な質疑



Ｑ：昨年の県への要望の８番目の地域手当の級地区分の福祉施策等に係る措置について。
Ａ：行政関連の地域手当の見直しがあったが、福祉関連については見直しがない。早期に実施してほしい。
Ｑ：県西部での出産できる場所が小田原市民病院だけになったが、妊産婦への交通費の補助などはしていないか。
Ａ：近隣の自治体でやっているが、南足柄市はやっていない。ただ、小田原市民病院までの道路が非常に混むので、その改善を県にお願いしている。また、周産期ケアができる拠点づくりを進めている。
Ｑ：高齢難聴者への補助を一早く進め、額も多いが、どのような論議があったのか。
Ａ：特段論議はなかった。市長として困っている人がいるならそれを助けることが必要と思い、補助を決定した。
Ｑ：狩川の浚渫の要望が出されているが、ひどい状況なのか。
Ａ：令和元年（２０１９年）の台風で河床が上がってしまい、それを浚渫するのが大変になっていた。近年は大雨による被害も大きいので、県土木事務所と相談し、浚渫工事を進めてもらっている。

（２）県への主な要望



○重度障害者医療費助成制度の県補助金の対象外とする措置の撤廃
○産科、小児科及び救急医療に係る医療体制の維持について
○学校給食の充実強化について
○地方消費者行政の充実強化について
○生活保護制度について、生活保護費負担金は全額国庫負担とするように国に意見を上げること
○福祉施策等に係る地域手当級地区分の見直しについて
○難聴高齢者に対する把握基準や支援基準の創設について
○県道等の早期事業化、整備について
特に都市計画道路「和田河原・開成・大井線」の早期の道路全線整備をすること
○狩川・内川の県が管理する河川内の土砂堆積の浚渫をすること

（３）感想

○市長としての在任期間も長く、以前は市の職員だったということもあり、とても市内のことに精通し、行政のこともしっかり把握しているように感じた。
○高齢難聴者への補助を県内でいち早く始めるとともに、その補助額が７万円を超えることもあり、非常に先進的な取り組みをされている。実施には市長の決断が大きかったということだが、市民の困っていることを市が支える姿勢は大事だと思った。
○この他にも、給食費の無償化や小児医療費助成も１８歳まで所得制限なしで行っているなどの取り組みも大切なことで、コロナ禍、物価高騰などで苦しんでいる市民の支えになっていると思う。

3 小田原市　／報告者：木佐木忠晶県議

［日　時］５月２日（金）16：00～17：00
［会　場］小田原市役所本庁舎３F 市長室
［出席者］計８名（小田原市２名、県議団４名、地元市議２人）
※（出席者の役職・氏名等は【１】参照）





（1）主な質疑

Q：再エネに関して、小田原市の最大の課題は？
A：地域の中で自前の電源をどれだけ作れるかが最大の課題。
Q：足柄上病院と小田原市民病院の連携について、現状は？
A：急性期医療は小田原市民病院が担い、回復期医療は足柄上病院が担うという役割分担になっている。
Q：転入超過の要因は何か？
A：コロナ禍を経て、都市部で仕事は変えられないけれども生活の場を移したいという人が増えていること、ワークライフバランスを重視する世代が増えていることが要因だと考えられる。

（2）県への主な要望

○ソーラーシェアリングに対する補助制度の拡充や、地域エネルギー事業への支援
○小田原市は火山対策が手薄であると認識しており、降灰時の処理方法など具体的な対策
○福祉避難所の設置・運営・訓練の実施や、災害時の避難所対策における支援強化

（3）感想

○小田原市は人口規模や公共交通機関の状況から県西地域の中核的な存在となっており、小田原市の発展とともに、周辺自治体への目配りも担っている。そのため、シュタットベルケ〔注〕と言われる地域公社が地域の維持・発展に利益を還元していく仕組みを目指していることは、ぜひとも応援したいと思う。
○足柄上病院と小田原市民病院の連携が不可欠であることから、地域医療の構築に対して、県が積極的な支援をすることも求めていきたい。



〔注〕シュタットベルケ（Stadtwerke）

自治体が設立・出資する公共サービスの会社を指し、ドイツでは19世紀からガス、上下水道、電力、公共交通サービスなどが行われてきた。日本では都市公社とも呼ばれる。
小田原市の[redacted]市長は「シュタットベルケという地域公社と呼ばれたりもするんですけども、エネルギーを作って売電をして、その収益をエネルギーだけではなくて、地域の公共部門にも投資していこうという事業モデル」（県ＨＰより）と説明している。

【４】費用額（政務活動費支出）

■公共交通機関を使った移動経路

〔自宅〕➡〔ＪＲ湯河原駅〕➡〔ＪＲ小田原駅〕➡〔自宅〕
↓↑　　↓　　↑
〔湯河原町〕　〔南足柄市〕→〔小田原市〕

■政務活動費支出　　19,042円

（内訳）

日付	科目	摘　要	支出先	金額
		＜往路交通費＞		
5/2	交通費	乗車券代（JR衣笠駅～JR湯河原駅）〔1名〕	JR東日本	1,342
〃	〃	タクシー代（自宅～JR新横浜駅）〔1名〕	東宝タクシー（株）	2,000
〃	〃	乗車券代（JR新横浜駅～JR湯河原駅）〔2名〕	JR東海・JR東日本	2,680
〃	〃	特急券代（JR新横浜駅～JR小田原駅）〔2名〕	JR東海	1,980
		＜移動交通費＞		
〃	〃	JR湯河原駅～JR小田原駅〔3名〕	ＪＲ東日本	990
〃	〃	タクシー代（JR小田原駅西口～南足柄市役所）〔4名〕	ケイエム大箱根自動車（株）	5,100
		＜帰路交通費＞		
〃	〃	乗車券代（JR小田原駅～JR衣笠駅）〔1名〕	ＪＲ東日本	990
〃	〃	乗車券代（JR小田原駅～JR新横浜駅）〔2名〕	JR東海	1,980
〃	〃	特急券代（JR小田原駅～JR新横浜駅）〔2名〕	JR東海	1,980
		合　計		19,042

以上